

【6月の休館日】3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)・27日(木)

6月の楽しいおはなし会

中央図書館
こども図書館 本の森
<<おはなし玉手箱>>
・1日(月)午前10時30分~
<<ひよこのおはなしかい>>
・13日(木)午前10時30分~
<<おはなし会>>
・15日(土)午前10時30分~

中央公民館
<<おはなしフレンズ>>
・8日(月)午後2時30分~

※申し込みは不要です。すべて30分程度で、赤ちゃん連れでも大丈夫です。安心してお越しください。



◀4月に実施した「おはなし玉手箱」の様子。中央図書館の中庭で桜を見ながら。

こんなに便利!
意外と知らない
公民館図書室

▼中央図書館と共通のカードで利用可能
▼図書や雑誌の返却はどこでもOK

中央公民館図書室
図書や雑誌が充実。月曜以外は開館してまます。
場所/柿岡5680・1

開室日時/火~日 午前9時~午後5時
(八郷総合支所となり)

東地区公民館図書室
石岡中学校のすぐそば。買い物帰りにも便利!
場所/東石岡4・6・24
開室日時/火~日 午後1時~午後5時

城南地区公民館図書室
田園風景が美しい、恋瀬川のほとり。体育館が目印。
場所/三村7109
開室日時/火~日 午後1時~午後5時

ビブリオバトルで読書の
素晴らしさを体感

▼オモシロイと思う本を紹介してください。その中で参加者が一番読んでみたいと思う「チャンプ本」を投票で決めます。見学のみも可能。
日にち/6月16日(日)

時間/午後2時~午後4時
場所/中央図書館3階会議室
対象/市民及び広域利用者
定員/20人(先着)

参加費/無料
講師/藤原龍一郎氏(石岡市
図書館文化アドバイザー)
申込方法/図書館カウンター
へ直接または電話



時の記憶

シリーズ159

教育者・
鈴木銀四郎の背景

文化振興課(支所)
TEL 43-1111(内線1324)

教

育者として活躍した鈴木銀四郎が教育を重視した背景について見ていきます。

鈴木銀四郎は家訓に従い5歳から兄・政考の下で学問を始め、11歳から13歳頃に私塾・積翠塾に入りました。家訓として幼少期から学問に励むあたりに、鈴木家の向学心の高さがうかがえます。

17歳になると水戸藩の小川郷校に入学し、19歳から20歳頃には周囲の勧めを受け江戸に出ます。水戸藩の重鎮・戸田銀次郎邸に住み込み小石川弘道館で文武を修めました。井関に帰る直前には彰考館写字生になっています。水戸藩は学問に熱心な鈴木銀四郎に対して、身分に関係なく評価し登用しています。

江戸時代、19世紀頃までは学問はほぼ武士だけの独占物でした。しかし、水戸藩は藩政改革によって郷校を設置するなど、学問を庶民にも開きました。教育を重視する姿勢は水戸藩領全体に浸透していたのでしよう。結果、教育の大切さを知る人材が育ち、新時代の原動力となったのです。

ふるさと歴史館では、鈴木銀四郎・長峰塾に関する企画展を開催しています。

企画展
長峰塾

教育で作る新時代
期間/8月4日(日)まで
場所/ふるさと歴史館
(総社1・2・10)
休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)



▲小川郷校跡
近代以降も小川小学校が置かれ、昨年度に閉校するまで多くの子弟が学んだ。

俳句

いしおか俳句同好会

小 幡 岡野 はつ子
小綬鶏や主無き庭の壁ぎて
高 浜 小池 さき子
留守番の夫に買ったる桜餅
東光台 小泉 ちよ子
花吹雪迷子のように歩きおり
石 岡 森田 愛子
別れ告ぐ文に花びら二、三弁
山 崎 若色 茂
青き踏む祖母に新車の車椅子

やさど俳句会

柿 岡 馬場 小零
パントマイムめく鶏の歩や春
風裡
宇治会 秋山 享弘
牟園を家族で祝ふ中華店
瓦 谷 石田 誠一郎
新緑に身を飾りつつ大銀杏

短歌

石岡短歌同好会

東大橋 森 美千瑠
栗畑の濃き花の香にわれ馴れ
てこの地に住み三十年か
高 浜 大嶋 全江
おだやかにうねりを写す春の
いろ霞ヶ浦の今日の出会ひは

南 台 田村 満佐

青空にこぶしの花の匂ひたち
待ちに待ちたる春となりたり
大 砂 藤岡 みつ子
紀元節ということばはずぐに
出るわれはもう九十歳

八郷短歌会

柿 岡 小林 渥子
池の面に波紋小さくゑがきつ
つ風の運べるさくら花びら
月 岡 菱沼 む免子
里山の山の端彩る山桜踊り子
草は野辺にさゆらぐ

俚謡

石岡俚謡会

下 林 加藤 弥生
桜名所の 風土記の丘に
歌碑に舞い散る 桜花
川 又 関 清志
泳ぐ大空 五月の空へ
里は端午の 鯉のぼり
貝 地 前島 くに子
さつき美味しい 草餅届く
母の気遣い 涙でる
府 中 小川野 蛙
砂丘登れば 雲悠々と
春の海原 波の音
石 岡 石塚 芳華
里の地蔵に 草餅供え
母が腰折り なる頬

東光台 福田 泰夫

春の日差しに つい誘われて
土筆探した 恋瀬川
南 台 平井 弥生
丘に登れば 遙かに見える
青い空より 筑波山
杉 並 助川 浩史

令和元年 五月の空に

夢もふくらむ 鯉のぼり
国 府 篠原 美千代
大地ほほ笑む 自然の舞台
春は絵筆の 伸びが良い

川柳

いしおか川柳会

柿 岡 関 きみ子
老いて尚見たい聞きたい学び
たい
小 幡 岡野 はつ子
六時半ラジオ体操耳でする
東大橋 醍醐 正夫
男前写る鏡はオレなのか

投稿作品

〔俚謡〕

川 又 前島 節子
明けて輝やく 令和の時代
昭和香りも 和みよる

〔短歌〕

東光台 福田 泰夫
新元号令和となりて思うのは
御幸通りの名付けし由来

第10回

文化協会盆栽部（八郷支部）

文化協会だより

八郷盆栽部は現在 21 名の会員で活動しております。

毎年 2 回の展示会を設けており、今年は県フラワーパークにおいて 5 月 29 日(㊄) ~ 6 月 2 日(㊄) までの 5 日間、さつき展を開催します。

また、秋は同じく県フラワーパークにおいて 11 月 1 日(㊄) ~ 11 月 4 日(㊄・㊄) の 4 日間、秋の盆栽展を開催します。

会員の丹精こめた作品を展示いたしますので多くの皆様にご覧になっていただきたいと思ひます。

同時に盆栽会員を募っておりますので、興味のある方はぜひ八郷盆栽部に入会してください。

会員 / 21 名 年会費 / 1,000 円

☎文化協会八郷支部

Tel 090-1428-1724 (鬼沢 功)

